

Rainbow Times

東日本大震災より1年が経過しました。改めて亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げ、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

子どもの虹情報研修センター 10周年記念シンポジウム

「子ども虐待対応を考える：これまでの10年とこれからの10年」

2000年、児童虐待防止法が施行されました。それ以降もメディアでは虐待事件が報じられ、そのたびに心が痛むのはみなさんも同じではないでしょうか。児童虐待の施策はめまぐるしく変わり、この4月には親権にまつわる民法改正という大きな出来事もありました。

虹センターは児童虐待防止法の成立にともない設立され、4月1日で開設10周年を迎えました。そこで、10周年を記念して、10年間の事業報告並びにシンポジウムを開催することと致しました。異なる分野の4人のシンポジストの先生方の発題をもとに、これまでの10年間、日本ではいったいどんなことが起きていたのかを振り返り、そしてこれからの10年で私たちは何を考え、どうすべきなのかを考える機会を設けたいと思います。ぜひともご参加下さい。

【日時】平成24年5月12日(土) 12:00 受付開始 12:30 開会 17:45 閉会

【場所】子どもの虹情報研修センター 大研修室(2F)

【内容】

第1部 12:50-13:50 子どもの虹情報研修センターの10年とそこから見えてくるもの

第2部 14:10-17:40 シンポジウム「これからの10年の子ども虐待対応を考える」

座長：津崎哲郎(花園大学)・西田寿美(三重県小児心療センターあすなろ学園)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1. 司法の立場から | シンポジスト：岩佐嘉彦(いぶき法律事務所) |
| 2. 虐待死亡事例から見た我が国の虐待対応の課題 | シンポジスト：才村 純(関西学院大学) |
| 3. 市区町村の立場から | シンポジスト：塚根智子(鳥取県倉吉市福祉保健部子ども家庭課) |
| 4. 社会的養護の立場から | シンポジスト：安川 実(聖霊愛児園) |

【参加費】無料(駐車スペースがございませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください)

【申込】HPに添付しております申込書をFAXでお送りください。(締切4/27)

(南山)



【海外虐待事件簿③：アメリカ】

テキサス州の民家で子ども11人保護 -州をまたいだ連携-

今年1月24日、テキサス州のある民家で身体的虐待の疑いがあるとの通報を受けた地元警察と児童福祉職員が家を訪問し、11人の子どもたちがChild Protective Services(CPS:児童保護局)に保護されるという事件がありました。

その家には、顔や腕に痣があり歯が欠けた11歳の男児をはじめ、8歳男児、5歳の盲目の女児、4歳男児、3歳女児、2歳の女児・男児、1歳男児、5ヶ月と8ヶ月の乳児、及び里親のもとから家出してきたとされる2人の男児の計11人がいました。その内5歳の盲目の女児と2歳の女児・男児は、ベッドに拘束され、他の5人の子どもと共に3㎡の部屋にいました。5か月と8か月の乳児は肺炎及び成長障害の疑いで病院に運ばれました。

子どもたちは全員学校に通っていませんでした。訪問時この家には、血縁者とみられる成人が少なくとも10人いたようですが、事情を聞いたところ“子どもたちの安全のために”ベッドに体を固定するのは当たり前で、特に問題は感じていないと答えたといいます。

後の調査で、ほとんどの子どもたちの祖母とみられる女性がこの家の家主で、1986年にミシガン州で身体的虐待により6人の子どもの親権をなくしていたことが分かりました。彼女は7人目の子どもを出産後、親権を保持する目的でテキサスに転居し、そこでさらに6人の子どもを出産して育てていました。更に、2005年には子どもへの身体的及び性的虐待の疑いをかけられ、2009年には「子どもを殴っている」と実の娘に通報されたことがありました。また、家主の息子は、性犯罪の前科があり、この家を住居として登録していたということです。現在、子どもたちの処遇を決める裁判が行われています。

この事件では、過去に親権喪失や虐待通報が繰り返されたにも関わらず見過ごされてきたことが問題視されました。特に、州をまたいだケースは情報が共有されにくく、州同士の連携に関する議論が活発化するとみられています。転居によって身を隠すというケースがあることは日本においても認識しておかねばならない視点かもしれません

(山邊)

～一口メモ～

☆2012年4月1日、母子健康手帳の改正が行われました。10年に1度の改定ということで、各自自治体で様々な工夫がされているようですが、みなさんのところはいかがですか？

～センターからのお知らせ～

★退職・異動などに伴い、情報発信の停止・変更等ございましたら以下にお知らせください。

guest1@crc-japan.net



企画・編集室(担当：南山) お気づきの点は下記まで…

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地 子どもの虹情報研修センター

TEL 045-871-8011 FAX 045-871-8091 Email info@crc-japan.net